

【取組内容】 PowerPointの共同編集を用いた授業研究記録

校内の研究授業の記録を、PowerPointで事前に共有しておくことで、事後研究会での入力を効率化し、授業の検討や各教科の実践交流に時間を多く費やすことができた。
 また、授業記録がアーカイブされていることで、年度内の授業実践記録・報告などを改めて作成する必要がなく、業務の効率化につながった。



<p>1月30日2年数学</p>	<p>気づき(一言で)</p> <ul style="list-style-type: none"> ここには写真を 飛び回るために、学ぶという目的があった。 だから、プリントで技能をみにつける。 協働をする必要がある単元構造 スタイルに慣れている。 飛び回り以外の表記を使ったりする。学び直しを教科の中でた戻すのか? 	<p>Keep よかったところ</p> <p>授業より…</p> <ul style="list-style-type: none"> 自由な発言 各自で計画を立てて 生徒が自らして 教師の事、理解し、あざむき、アドバイス、支援 <p>学力はほとんど変わらなかった。学力が高い生徒は自習の力がついてきた。</p>	<p>気づき(一言で)</p> <ul style="list-style-type: none"> ここには写真を コメントをここに追加
<p>気づき(一言で)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学びの手引きを明示 前方の掲示物は教師端末の投影・手引きの2つ(シンプル) 	<p>気づき(一言で)</p> <ul style="list-style-type: none"> 今日は何回目かを確認して即活動に入ることができる。(15秒後に活動開始) 生徒が計画を立てているのか 生徒が何をやるかを個人が把握できている。 	<p>気づき(一言で)</p> <ul style="list-style-type: none"> 3分時「回読」 5分時「数学」 教科や単元によって、学ぶ環境を調整できている生徒 多少は人間関係による「安心できるグループ」を作りがちな傾向もある。 協働を必要とする単元計画 	<p>気づき(一言で)</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報を集めるための学びの場所選択 思いっけではなく、体育館で練習する日を計画して実施する生徒 教師の目の届かない所で学ぶ場合、安全の確保は大丈夫か? 学びを導く上で、バランスが難しい所ですね。
<p>気づき(一言で)</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業者不在でも学びを進めることができる。 自分で立てた計画には主体性が含まれるため、指導者に左右されない学びが進む。 学校の生徒指導状況にもよるが、今の学校だからできることなのかもしれない。生徒指導を学びの主体性が上回れば実現できると感じた。 	<p>気づき(一言で)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分で集めたデータで元に戻り調整する。 実験に飛び回ってみたいという感じが、振り戻る。 	<p>気づき(一言で)</p> <ul style="list-style-type: none"> インターネットが自由に使えることで、集めるデータの幅が広がる 	<p>気づき(一言で)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「データを取る対象者を先生にまで広げるとか10人の集団のデータを取りたいのか考えなさい」という指示、アドバイス 忙しみにデータを収集すれば、別の集団の復讐の目的がぶれる? データを取る目的を考えさせる(ここにも教師の役割)

